

春の展示会 Reports

2008国際ウエルディングショー

世界初7軸アーク溶接ロボットが来場者を魅了

2008年4月9日から12日までの4日間、インテックス大阪において「2008国際ウエルディングショー」が開催されました。同展示会は「エッセンシャルウエルディングフェア」(ドイツ)、「AWSウエルディングショー」(アメリカ)と並び世界三大国際溶接展示会の1つであり、今回の出展社数は200社を超え、期間中の来場者数も10万人を超える盛況となりました。

当社は「溶接のNew Global Standard」をテーマに出展しました。ブースのメインステージでは、世界初の7軸アーク溶接ロボットによる動作特性をわかりやすくアピールした実演で、来場者の大きな注目を集めました。各展示内容では、新形溶接電源を組み合わせたロボットアプリケーションによる溶接実演と技術員によるきめ細やかな説明で、様々な溶接現場ニーズへの解決策を具体的にご提案しました。なかでも新形7軸アーク溶接ロボットを1軸ボジショナの上に配置した展示では、これまでの設備設置面積を約1/2に削減、柔軟な動作で最適溶接姿勢を保持しつづける新形7軸アーク溶接ロボットに多くの来場者が魅了されました。

おかげさまで当社ブースの来場者数は前回大阪開催時に比べ40%アップの3800名となり、当初目標を1000名以上、上回る結果となりました。

溶接用途にとどまらず今後とも社会のニーズに合致した様々な用途で進化しつづけるMOTOMANIにご期待ください。



2008 国際ウエルディングショー



第18回ファインテックジャパン

当社液晶ガラス搬送ロボットがグランプリを受賞

2008年4月16日から18日までの3日間、東京ビックサイトにおいて第18回ファインテックジャパンが開催されました。この展示会は、液晶テレビ等に代表される薄型パネル表示器の製造装置や部材のメーカーが一同に会して行われる薄型パネル業界最大の展示会です。

当社展示ブースでは、液晶パネルの素材となる約3m角のマザーガラスを装置間で搬送するロボット「MOTOMAN-CDL3000D」の実機展示とデモ動作を行い、その大きさゆえの迫力に多くの来場者が驚嘆の声を上げていました。そのほか、真空内で動作可能な特殊なロボットやΣ-Vシリーズのサーボ製品、MPシリーズのコントローラなどを実演を交えて展示し、多くの方々に感心を持っていただきました。

さらに、今回の展示会でうれしい出来事がありました。それは展示会初日に行われるADY(アドバンスド・ディスプレイ・オブ・ザ・イヤー)賞の製造装置部門グランプリに当社の液晶ガラス搬送ロボット「MOTOMAN-CDL3000D」が選ばれたことです。

ADY賞とは、薄型パネル表示器に関する優れた製品を選考、表彰し、広く世に発表することにより、業界関係者の功績を称え、ともに、業界の技術および市場のさらなる発展に寄与することを目的としています。こういった賞を受賞できたことは開発関係者を含め関係者の励みになると喜んでます。

ADY賞グランプリの受賞のおかげで、当社展示ブースへ多くの訪問者やプレス関係者の取材があり、当社及び製品を広くPR出来ました。



第18回 ファインテックジャパン

お問い合わせ先:
 ・2008国際ウエルディングショー ・第18回ファインテックジャパン
 ロボット事業部 事業企画部 TEL: (093) 645-7703 FAX: (093) 631-8140

HVAC&R JAPAN 2008

HVAC&R JAPAN 2008(冷房・空調・暖房展)が2008年2月12日~15日、東京ビックサイトで開催されました。

当社は、「環境にやさしい省エネドライブ」をテーマに、誘導電動機はもちろん同期電動機も駆動可能で大幅な省エネ運転を実現する小形インバータV1000シリーズと、交流電圧から交流電圧を直接出力する世界初の技術で電源高調波抑制や電源回生を実現するマトリクスコンバータ Varispeed ACを展示しました。



HVAC&R JAPAN 2008

2008中部パック

中部地区最大の包装機と食品機械の展示会である2008中部パックが4月9日~12日、ポートメッセ名古屋にて開催されました。

当社は「マシンの進化をリードする!多彩なコンポーネントで提供するYaskawa Total Solution」をテーマに出展しました。メインステージではe-メカサイトのメールマガジンでお馴染みの豆大福先生と竹芝涼子ちゃんがACサーボドライブ「Σ-Vシリーズ」や小形インバータV1000シリーズの特徴や性能をわかりやすく多くのお客様にプレゼンしました。また最先端技術を集結したインバータなど、多数の新製品/ソリューションを展示しました。



2008 中部パック



テクノフロンティア 2008

テクノフロンティア 2008

開発設計者、生産技術者のための専門技術展であるテクノフロンティア2008(モータ技術展)が4月16日~18日、幕張メッセにて開催されました。

当社は「豊富なラインナップを実現! YASKAWAメカトロソリューション!!」をテーマに出展し、最先端技術を集結した新製品を多数ご紹介しており、「J1000シリーズ」「V1000シリーズ」や、ACサーボドライブ「Σ-Vシリーズ」の充実した品揃え、コンパクトなマシンコントローラ、リニアモータ/ダイレクトドライブモータなどの豊富なアクチュエータを展示しました。

お問い合わせ先:
 ・HVAC&R JAPAN 2008
 インバータ事業部 マーケティング課
 TEL: (0930) 25-2548 FAX: (0930) 25-3431
 ・2008中部パック
 モーションコントロール事業部 営業企画部 営業推進課
 TEL: (04) 2962-5470 FAX: (04) 2962-5913
 ・テクノフロンティア 2008
 インバータ事業部 マーケティング課
 TEL: (0930) 25-2548 FAX: (0930) 25-3431

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

駅伝から個人戦へと舞台を移した2、3月も安川電機陸上部の活躍は続きました。

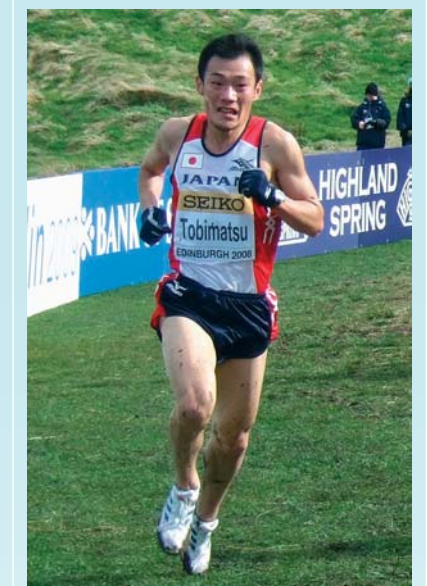
まずロードレースにおいては、若手の久保田大貴、植田賢史選手が唐津10マイルロードレースで、下八重裕太郎選手が金栗杯玉名ハーフマラソンでそれぞれ自己新記録を更新しました。まだまだエース格との差はありますが、確実に成長の跡を見せています。

マラソンでは別府大分毎日マラソンに出場した坂本友和選手が自分のペースを維持し、後半粘り抜いた末に9位に入賞しました。延岡西日本マラソンにマラソン初挑戦した中本健太郎選手は、強風の影響を受けない適切なポジションでレースを進め、30km~39kmまでの間激しい優勝争いを展開し、3位に食い込みました。初めてテレビ

生中継されたこの大会で手に汗握るレース展開を見せてくれました。

飛松誠選手に至っては、千葉国際と福岡国際クロスカントリーの双方で日本人トップの成績を収め、満場一致で世界大会の日本代表に選出されました。不整地における適応性・脚力を存分にアピールし、自ら「クロカン王子」と称するほどの活躍でした。世界クロスカントリー選手権においては、106位という結果に終わりましたが、世界との実力差を実感し、今後の走力アップに繋げてくれることでしょう。

新年度となり、当社陸上部も新戦力の加入で更なる飛躍を目指します。皆様におかれましても、当社陸上部の応援を宜しくお願いします。



世界クロスカントリー選手権で最後のスパートをかける飛松選手

選手の声:
 三度目の世界クロカンでしたが、目標にしていた走りができなくて悔しい思いです。しかし、世界の強豪と走り、いろいろな勉強になったし、いい経験ができたので次に繋がりたいと思います!!

飛松 誠

◆2008年2月~3月の主な戦績

日程	大会名	実績
2月 3日	別府大分毎日マラソン	坂本選手が後半順位をアップし9位
2月 10日	唐津10マイルロードレース	久保田選手、植田選手が自己新記録達成
2月 10日	千葉国際クロスカントリー	飛松選手が日本人トップの3位
2月 24日	延岡西日本マラソン	初マラソン中本選手が激しい優勝争いの末3位
3月 1日	福岡国際クロスカントリー	飛松選手が日本人トップの4位、小畑選手も13位と健闘
3月 2日	金栗杯玉名ハーフマラソン	下八重選手が自己新記録達成
3月 30日	世界クロスカントリー選手権	飛松選手が出場166選手中106位